

令和6年度福建通常総会を開催

令和6年度福島県建設技術協会通常総会は、5月に書面で開催しました。

令和5年度事業及び収支決算報告並びに会計監査報告、令和6年度事業計画及び予算について審議が行われ、原案のとおり承認されました。

◆ 令和6年度 役員 ◆

令和6年度役員は、規約に基づき前役員より推薦いただいた次の方々を選出されました。

会 長	福島県土木部次長 (河川港湾担当)	中川 善則
副会長	福島県土木部道路計画課長	阿部 弘明
	福島県土木部営繕課長	佐瀬 守昭
	福島県会津若松建設事務所長	野地 重和
	二本松市建設部長	鈴木 喜代一
会 計 幹 事	福島県土木部下水道課長	齋藤 雅敏
	福島県県南建設事務所長	手塚 孝良

◆ 令和6年度 事業計画 ◆

令和6年度事業計画が以下のとおり承認されました。

1. 組 織 部

- (1) 会員名簿の作成
- (2) 全建長期会員表彰者の推薦
- (3) 福建会員管理
- (4) 会員顕彰
- (5) 福建「功労賞」表彰
- (6) 東北地区建設技術協会連合会 広報・技術研鑽奨励賞の報告

2. 調 査 部

- (1) 技術力向上に関する支援
技術資格取得支援金、体験感謝礼等

3. 事 業 部

- (1) 方部別助成
方部別開催事業の助成、震災復興に関する活動
- (2) 文化事業方部助成
地域貢献、ボランティア活動への助成

4. 編 集 部

- (1) 機関誌発行
建設ふくしま No.145 の発行
建設ふくしまニュース No.86 の発行 (HP掲載)

5. 研 修 部

- (1) ふくしまの未来を拓く業務発表会

6. 事 務 局

- (1) 東北地区連合会 R6総会、表彰式
- (2) 「伝承プロジェクト」の実施

◆ 令和5年度 全建表彰 ◆

(令和5年度役職)

1. 谷口功労賞

曳地 利光 福島県土木部長

2. 東北地区建設技術協会連合会 会長賞

長嶺 勝広 福島県県北建設事務所長
青木 隆直 福島県土木部次長 (企画技術担当)
草野 秀夫 福島県企業局次長
車田 和昭 福島市建設部長

3. 全建功労賞

鈴木 義弘 福島県まちづくり推進課長
穴戸 勤 福島県港湾課長
小湊 隆久 福島県空港施設室長
福地 敏弘 福島県県中流域下水道建設事務所長
半澤 雅則 福島県出納局工事検査課長



全 建 賞 受 賞 報 告

●全建賞〔災害復旧・復興以外の事業又は施策（一般枠・河川部門）〕

<事業名> 千五沢ダム再開発事業

<受賞機関> 福島県中建設事務所

かんがい専用ダムに治水機能を付加するため、既設洪水吐きの改築を行うダム再開発事業。かんがい専用ダムであった既存施設をラビリンズ型と呼ばれる全国でも珍しい越流堤構造を採用し、治水機能を付加させた。



改築前(洪水調節機能なし)

改築後(洪水調節機能あり)



●全建賞〔東日本大震災に係る復旧・復興事業特別枠（東日本枠・道路部門）〕

<事業名> 国道401号 博士峠工区

<受賞機関> 福島県会津若松建設事務所

国道401号博士峠のバイパス整備。大沼郡会津美里町と昭和村の境に位置する現道は、幅員狭小、急カーブ、急勾配等により、著しく交通の支障となっていることに加え、冬期間においては雪崩等の危険性のため、通行止めとなっており、道路交通上の大きな障害となっていた。当区間の開通により、安全で円滑な交通が確保されるとともに、冬期通行止が解消されることから、地域間の連絡機能強化及び救急医療機関へのアクセス向上、会津地方の地域振興を図った。

トンネル整備を両側から掘削や並行施工の実施、舗装のICT施工による生産性向上などの工夫により施工を行った。



全 建 賞 受 賞 報 告

●全建賞〔東日本大震災に係る復旧・復興事業特別枠（東日本枠・建築部門）〕

<事業名> 大熊町立「学び舎ゆめの森」建築事業

<受賞機関> 福島県大熊町

認定こども園と義務教育学校を一体化した、0～15歳までの子供たちが混じり合って遊び、学ぶ大熊町立学校の整備。



様々な年代との交流を可能とするだけでなく、地域開放可能なエリアを設け、地域一帯の賑わいを創出し、大熊町復興の象徴の一つとなっている点や屋根の高断熱化等によりZEB Ready相当の省エネルギー対策を実現し、環境負荷低減に配慮した点が評価された。

谷 口 功 勞 賞 受 賞

福島県土木部長 曳地 利光 氏

平成元年に入会以来、分会委員や常任委員を歴任するなど、積極的に協会活動に参画され、事業の推進及び発展に大きく貢献されました。

特に、会津若松方部委員在任中は、市町村会員と協働し、地域おこしやまちづくり支援の一環で会津藩公行列や大俵引きを主導するなど、所属の枠を超えた親密な交流を図り、県・市町村会員の連携強化を図りつつ、組織の活性化に尽力されました。

また、常任委員在任中は、東日本大震災からの復旧・復興を推進するためのプロジェクト「浜通り復興加速化チーム」の先頭に立ち、地域の要望や意向を丁寧にくみ取りながら市町村会員と連携して復興施策を推進するとともに、若手技術者へ技術指導を行うなど、組織の強化や会員の技術水準の向上に貢献されました。

事務局よりお知らせ

会費について

○正会員 月会費700円(全建320円+ 福建380円)

○準会員 年会費(4月1日現在)80歳未満5,000円、80歳以上2,000円

納入方法は、「銀行振込」または「事務局へ持参」のどちらかでお願ひしております。

■銀行振込■の場合

振込銀行口座：東邦銀行 県庁支店 普通口座 1719

福島県建設技術協会 会長 中川 善則

※手数料はご本人の負担となります。

※準会員の方は、必ずご本人のお名前でお振り込みください。

■事務局へ持参■の場合

事務局所在：県庁土木部道路整備課内 福島市杉妻町2-16

(本庁舎4階)事務局員 遠藤 季代子

福島県建設技術協会ホームページ

<http://fukken.net>

技術資格取得支援の情報や全建講習会リーフレットなど



■事務局■ 福島県土木部道路総室

TEL 024-521-9820 FAX 024-521-7951

- ・事務局長 吉田 和成
(道路整備課 主幹兼副課長)
- ・副事務局長 石幡 雅弘
(道路整備課 主任主査)
- ・書記 栗田 庸
(道路管理課 主査)
- ・会計 戸田 龍佑
(道路管理課 副主査)
- ・庶務 佐藤 真一
(高速道路室 主査)
- ・総務 西之宮 楓
(道路計画課 技師)
- ・事務局 遠藤 季代子

■編集部■ 福島県土木部まちづくり推進課

TEL 024-521-7511 FAX 024-521-7956